

第四十六回帝國議會 衆議院

日本勸業銀行法中改正法律案外三件(產業組合中)中央金庫法案)委員會會議錄(速記)第五回

會議

大正十二年二月二十七日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武藤 金吉君

理事 原田佐之治君

理事 守屋松之助君

理事 喜七君

理事 白井 博之君

理事 松浦五兵衛君

理事 望月 政友君

理事 瀧 正雄君

理事 南里 琢一君

理事 下岡 忠治君

理事 森 達三君

理事 土井 權大君

理事 野村勘左衛門君

理事 改野 耕三君

理事 牧野 良三君

理事 權大君

理事 荒井賢太郎君

理事 黒田 英雄君

理事 大藏書記官 岡田 信君

理事 農商務次官 岡本英太郎君

理事 農商務省農務局長 長瀨 欽司君

理事 農商務大臣 荒井賢太郎君

理事 出府政府委員左ノ如シ

理事 大藏省銀行局長 黒田 英雄君

理事 農商務次官 岡田 信君

理事 農商務省農務局長 長瀨 欽司君

理事 農商務大臣 荒井賢太郎君

理事 出府政府委員左ノ如シ

理事 大藏省銀行局長 黒田 英雄君

理事 農商務次官 岡田 信君

理事 農商務省農務局長 長瀨 欽司君

理事 農商務大臣 荒井賢太郎君

理事 出府政府委員左ノ如シ

理事 大藏省銀行局長 黒田 英雄君

理事 農商務次官 岡田 信君

理事 農商務省農務局長 長瀨 欽司君

理事 農商務大臣 荒井賢太郎君

理事 出府政府委員左ノ如シ

理事 大藏省銀行局長 黒田 英雄君

○武蔵委員 前會ニ引續キ會議ヲ開キマス、星島君、マダ政府委員ガ全部見エテ居リマス、提案者ニ御質問ガアリマシタラバ、御質問ニナルヤウニ致シタイ

○星島委員 私ハ提案者ニモウ一言簡單ニ御尋シタイ、此第三章ノ業務、第十三條デアリマス、組合ニ限ッテ貸出ラシマス、此業務ニ付キマシテ如何ニ營業シマシテモ、此第十三條ノ一、二、三、四ノ項目ノ仕事ノミデハ、到底營業ノ利益ト云フモノヲ圖ツテ行クコトガ困難デアル、斯ウ思フノデアリマスガ、提案者ニ於テハドウ云フ御考デアリマセウカ、是デハ損ヲスルト云フ見込ノ下ニ、十五條ガドウシテモ必要デア

フ點カラ言ヒマスレバ結構ト思ヒマスガ、之ニ付テ十三條ダケデ十分ニ利益ガアリ得ルト云フ御見込ガアリマセウカ、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

トカ、或ハ産業組合中ノ有力ナル人ヲシテ妻書セシメテ、貸付ヲスルト云フ手續ヲ採テ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、只今デモサウ云フノガアリマスガ、尙又サウ云フ方法ハ採テ居ラナイノデスカ、其模様ヲ承知シタリノデアリマス、ソレカラ勸業銀行ガ産業組合ニ貸シテ居ルノハ、ドノ位ノ範圍ニ涉テ居ルノデスカ、尙ホ貸付後ノ成績資金ノ回收等カ果シテ圓滿ニ行ハレテ居ルカ、場合ニ依レバ回收ガ困難ナル、餘リ面白クナイト云フヤウナ結果ヲ見テ居リマスガ、ドウデアリマスカ、ソレカラ若シ分ルナラバ、勸業銀行ノミナラズ、地方ニ於ケル農工銀行ガ産業組合ニ貸シテ居ル成績、是ハ細カイ事ヲ聞ク譯デアリマセヌ、大體ニ依テ産業組合ニ貸付ケテ成績ガ立派ナモノデアアルカ、尙ホ不安ノ状態ヲ免レナイノデアアルカ、其實況ヲ承知シタリノデアリマス

○岡本政府委員 只今ノ下岡君ノ御質問ニ御答致シマスガ、日本勸業銀行ガ産業組合ニ對シテ貸付ケテ居リマスコトハ、只今御述ニナッタ如デアリマスガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ仰セヨウナ遺憾ガアルト云フコトハ、當局ニ於テモ考ヘテ居ルノデアリマス、對人信用デ貸付ケル場合ニ於キマシテハ、大體十人以上ノ團體アタリニ貸付ケテ居ルノデアリマス、又對人信用ト申シマシテモ、實ハ有力者ガ保證シテ居ルモノデアアルコトヲ承知シテ居リマス、是ハマダ産業組合ガ十分外部ニ向ッテ、信用ヲ得ルダケノ程度ニ達シテ居ナイモノガ多イ結果デアラウト存ジマス、併ナガラ産業組合ニ對スル勸業銀行ノ貸付ハ年々殖エテ居リマス、此兩三年ノ高ヲ申シマシテ、年賦貸付ト定期貸付ヲ合セマシテ、大正六年ニハ六百七十七萬圓餘、大正七年度ニハ六百八十七萬圓餘、大正八年ニハ七百五十一萬圓餘、大正九年ニハ約千五百萬圓程ニナツテ居リマス、ソレカラ農工銀行ガ産業組合ニ貸付テ致シテ居リマス金額モ年々殖エテ居リマス、是モ年賦貸付ト定期貸付ト合セマシテ、大正六年ニハ僅カ七十五萬圓餘デアリマシタガ、大正七年ニハ九十萬圓餘、大正八年ニハ百十三萬圓餘、大正九年ニハ三百七十萬圓餘ニナツテ居リマス

○下岡委員 其成績ハドウデアリマスガ、回收ニ困ツタトカ、非常ナ紛紜ガ起ツタトカ云フコトハ無カッタノデアリマセウカ

○岡本政府委員 中ニハ多數ノ産業組合デアリマスカラ、御疑ノヤウナ事モアラウカト思ヒマスケレドモ、當局ノ承知致シテ居リマス所デハ、勸業銀行、農工銀行ガ貸付ケテ居リマスモノデ、回收ガ困難ト云フヤウナコトハ聞イテ居リマセヌ、其點ハ尙ホ取調ヘマシテ御答申上ゲテモ宜イノデゴザイマスガ、餘リウウ云フコトハ聞イテ居リマセヌ、

回收ガ不能ニナツタ、或ハ非常ニ困難デアルト云フコトハ能ク承知シテ居リマセヌ

○下岡委員 私人ノ一番懸念致シテ居リマスノハ、折角對人信用デ金ヲ貸スト云フ途ヲ開イテ居ナガラ、即チ勸業銀行法ニ於テハ産業組合ニ金ヲ貸スト云フコトニナツテ居リナガラ、其産業組合ヲ信用シテ金ヲ貸スニ非ズシテ、必ズ理事トカ、或ハ地方ノ有力者ヲ保證人ノ位置ニ立タシムル、語ヲ換ヘテ言ヘバ、産業組合ヲ信用シテ居ラヌト云フ遺方ハ、一面ニ於テハ産業組合ガマダ進歩シテ居ナイト云フコトニナルノデアリマスガ、今日デモ矢張裏書者ヲ必要トシテ居ルノデアリマスガ、其點ハドウ云フ風デアリマスガ

○岡本政府委員 其點ハ只今御答致シタ積リデアリマスガ、中ニハサウ云フ事ガ確ニアルヤウニ思ヒマス、併シ悉クガサウデアラウトモ考ヘテ居リマセヌ、産業組合ノ發達ノマダ低イモノニ於キマシテハ、對人關係ニ於テハ不十分ト認メテ、個人保證ヲシテ居ルモノガアルコトハ事實デアルト思ッテ居リマス

○下岡委員 ソレハ例外ニアルノデスカ、ドウ云フ風ニナツテ居リマスガ、甚ダ勝手ノ事ヲ申シマスガ、却テ農務局長ノ方ガ御詳シイカモ知レマセヌ、私ハ事實ヲ承リタイノデスカラ、何方デモ宜シウゴザイマスガ、事實ハドウナツテ居リマスガ

○岡本政府委員 一寸其前ニ私カラ申上ゲテ置キマスガ、申ス迄モナク勸業銀行ハ營利本位デヤツテ居リマスガ爲ニ、産業組合ノ力デハ信用不十分ト認メテ、個人保證ヲ要求スルコトハ免レ難イ、之ニ反シテ産業組合聯合會ガ貸シテ居リマス時分ニハ、サウ云フ事ハナイヤウニ承知致シマス、是ハ全ク營利本位カラ來テ居ル結果ト考ヘテ居リマス

○下岡委員 サウストルト産業組合聯合會ガ産業組合ニ貸ス場合ニハ、サウ云フ擔保ト云フ手續ヲ執ラヌカ、勸業銀行ガ直接産業組合ニ貸ス場合ニハサウ云フ方法ヲ執ッテ居ルコトモアリ、取ツテ居ラスコトモアル、斯ウ云フコトデアリマスカ

○岡本政府委員 其通りデアリマス

○下岡委員 私人ノ伺ッテ居ルノハ、産業組合ニハ大抵保證ヲ取ツテ居ルト云フコトデアアル、即チ語ヲ換ヘテ言ヘバ、産業組合ヲマダ十分信用セヌ所ガアル、是ハ組合ガ尙ホ發達シナイカラ已ムヲ得ナイデアリマセウガ、願クハ産業組合ヲソコマデ信用シ得ル程度ニマデシテ欲シイト思フノデアリマス、サウストルト現在デハ場合ニ依レバ保證ヲ取ツタリ、場合ニ依レバ保證ヲ取ラズシテ貸シテ居ルト、斯ウ見テ宜シウゴザイマスガ

ク、勸業銀行又ハ農工銀行ニ於キマシテ貸付致シマスル場合ニ於テハ、大體ニ於テ役員ノ保證スル場合ガ多イノデゴザイマスケレドモ、是ハ銀行ノ貸付ト致シマシテ、大體ニ於テ大事ヲ取りマスト云フコトハ、銀行業ノ上ニ於テ一應尤ト存ジマス、ソコデ役人ニ於テ保證ヲ致シマス場合ニハ、大體是ナラ大丈夫デアルト云フ一ノ裏書ニナリマス譯デアリマスカラ、多クノ場合ニ於キマシテ確實ト認メ得ラレマスカラ、銀行ト致シマシテハ、多クノ場合ニ於テ保證ヲ取ツテ居リマスノガ今日ノ状態デアリマス

○下岡委員 其筆法ヲ以テ考ヘマスルト、此産業組合中央金庫ト云フモノガ出來テ、是ガ業務ヲ始メルヤウニナツテモ、或ハ恐ル相變ラズ役員理事等ヲシテ裏書ヲサセナイト云フト、此金融事業ヲ圓滑ニ進メテ行クコトガ出來ヌコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、願クハサウ云フ要ラヌ手數ハ廢シテ、何所マデモ産業組合ト云フモノヲ信用シテ、中央金庫ガドシノ金融ヲ圓滑ニシテ行カナクチャナラヌト思ヒマスガ、併ナガラ組合ソレ自體ニ不安ノ念ガアリマス、サウ云フ手續ヲ執ラナケレバナラヌヤウニナリマシテ、延テハ金融事業ヲ滑ニスルコトガ出來ヌ虞ガアリマスガ、當局トシテハ中央金庫ヲシテソレシテノ仕事ヲサシテ行クト云フコトニ付テハ、サウ云フ二重ノ手數ヲセズニ、十分ニ運シテ行ク見込ガアルト御考ヘナリマスカドウカ、其邊ニ關スル御見込ヲ承ツテ置キタイ

○岡本政府委員 現今勸業銀行農工銀行ニ於キマシテ、産業組合ニ貸付ラシテ居リマスニハ、只今モ申シマスル如ク營利銀行ガゴザイマスガ故ニ、是ハ已ムヲ得ナイ點モアルノデアリマス、ソレデ聯合會ガ産業組合ニ貸付ケマス場合ニ於テハ、現在ニ於キマシテモ、當局ノ承知致シテ居リマス所デハ、全ク個人保證ナドハ取ツテ居ラヌヤウデアリマス、サウ云フモノモ稀ニハアリマスガ知リマセヌガ、取ツテ居ラヌト思ッテ居リマス、是ハ相互的ニヤツテ居ル結果デ斯ウナルノデアリマス、此度ノ法案ハ何所マデモ相互主義デ行ッテ、非營利方針デアルト云フ性質ノモノデアリマスカラ、勸業銀行農工銀行ガ貸付ケマスガ如キ面倒ナ事モセズシテ、圓滿ニ行クモノデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ中産業組合ノマダ發達ノ鈍イ所デハ、例外トシテ個人保證ヲヤルヤウナ所モアルカ存ジマセヌガ、大體カラ申シマシテ滑ニ行ツテ居ルコト、考ヘテ居リマス

○下岡委員 私人唯、願クハ此中央金庫ナルモノガ圓滿ニ行レテ行キタイト云フ希望カラ、産業組合ノ現狀ニ付テ實ハ伺ッテ居ル譯デゴザイマスカラ、ドウゾ御心配ナク御答ヲ願ヒタイノデアリマス、營利會社デアラウガナカラウガ、其事ハ區別ノナイ事デアリマス、營利會社ト雖モ安全ニ行カナク

レバナラス、非營利會社ト雖モ、組合自ら安全デナクシテ損  
バカリシテ居ルト云フコトニナリマス、中央金庫方成立  
テ行カヌノデアアルカラ、營利會社デアアル營利會社デアイト云  
フダケデ、個人保證ヲ置ク置カヌト云フコトハ問題ニナラ  
ヌ、唯、産業組合ノ發達ノ程度方稍、進シテ來テ、サウ云フ  
個人保證ナドヲ設ケズトモ十分安心シテ貸セルモノデア  
ル、他口資金方十分安全ニ回收ガ出來ルモノデアルト云フ  
コトナラバ、ソナテ複雑ナ手續ヲ要サヌコトニナリマスガ  
ラ、當局者ノ御考デハ今日勸業銀行ノヤ、テ居ルヤウナサウ云  
フコトヲセズニ、中央金庫ト云フモノノ十分ニ産業組合ニ  
金ヲ貸シテ、而モ個人保證ト云フヤウナ二重ノ手續ヲセズ  
ニ行クト云フ見込ガアリマセウカ否ヤト云フコトヲ、當局  
ノ御見込ヲ一應聽クノデアリマス、是ハ餘程此機關ヲ運用  
スル上ニ於テ大事ナ事デアリマスカラ、詰リ産業組合ノ發  
達ノ程度如何ト云フコトヲ御尋スル意味ニナルノデアリマ  
ス、尙ホ之ヲ念ノ爲ニ承テ置キタイト思ヒマス

○荒井國務大臣 private 閣下御質問ニ對シテ大體ヲ御  
答シタイト思ヒマス、下岡君ノ只今御心配ニナル點ガ、  
即チ此産業組合ト普通銀行トノ差デアラウコト、思フ、一體各  
國ノ例ニ徴シマシテモ、産業組合ト云フコトニナリマス  
ト、詰リ中央金庫ハ各組合ガ加入シテ相互主義ヲ扶助シテ  
行ク、ソレデアアルカラ此仕事ヲスルト云フコトニ付テハ一  
番必要ナラヌ、中央金庫方常ニ各組合ノ信用調査ヲ一日モ  
怠、テハナラヌ、是ハ何所ノ組合ガヤツテモ斯ウ云フ仕組ニ  
ナツテ居ル、ソレダカラ組合員ノ信用調査ト云フコトニ一  
重キヲ置イテ、常ニ其信用調査ヲ完全ニシテ置イテ、ソレニ  
對シテ貸出スルノデアアルカラ、擔保ナドハ無論原則トシ  
テ微サナイ、擔保ヲ微サナイデモ信用調査ヲ完全ニシテ置  
ケバサウ云フ心配ハ無い、普通ノ銀行デアリマス、ドウシ  
テモ營利主義デアッテ、サウシテ局外ニ立ッテ貸付スルカ  
ラ、確實ヲ欲スル爲ニ擔保モ微スルト云フコトニナルケレ  
ドモ、斯様ナ中央金庫、即チ信用組合ノ性質ヲ有スルモノ  
ハ、各自ガ自分ノ金ヲ持寄、テ、サウシテ之ヲ集メテ各自ニ  
融通ヲシヤウト斯ウ云フノデアアル、ソレ故ニ其組合員ノ數  
モ限定シテ、平生組合員ハ如何ナルモノデアアルカト云フコ  
トハ能ク分テ居ル、ソレデアアルカラ其上ニ更ニ擔保ヲ微ス  
ル必要ハナイ、ソレデ中央金庫ハ常ニ組合員ノ調査ト云フ  
コトニ力ヲ用テ居ルノデ、是ガ一番必要ナ事デアアル、此信  
用調査ニ基キテ貸付ケルト云フノガ、信用組合ノ性質デア  
ルカラ、此中央金庫ト云フモノガ出來レバ自然サウ云フ方  
針ヲ進ミマスカラ、只今迄ノヤウニ普通ノ銀行ガ産業組合ニ  
貸付シテ居ルノハマルデ性質ガ違、テ居ッテ、信用ノ上  
ニ貸付ラスル、又サウ云フヤウニ働イテ行カナレバ私ハ

効ハ無いト思フ、當局デハ是ガ成立シマスレバ、其趣旨ヲ以  
テ取扱フテ行カウト、斯ウ云フ考デアリマス

○下岡委員 第二ニ問ウテ見タイノハ、此産業組合聯合會  
ノコトデアリマス、聯合會ノ現狀ハ果シテドウ云フ模様デ  
ゴザイマセウカ、數字等ハ御廻シテ下サイマシタ統計ニ於テ  
分ッテ居リマスガ、實ハ此聯合會ガ非常ニ發達シテ來ルト云  
フコトニナリマス、中央金庫等ノ活用モ非常ニシヨイ譯  
デアルト思ヒマスガ、今日ニ於テハ産業組合聯合會ト云フ  
モノハ、餘リ發達シテ居ラスヤウニ見受ケテ居ルノデゴザ  
イマスガ、是等ハドウ云フ風ヲ活動ヲシテ居ル、即チ具體的  
ニ申セバ資本ヲドウ云フ風ニ集メテ、且ツ之ヲ貸付ケテ居  
ル——金融ヲヤツテ居ル狀況等ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、  
尤モ産業組合ノ種類ニ依ッテ色々アリマスケレドモ、先ヅ信  
用組合ノ聯合會ニ付テ考ヘテ見ルト、資金ヲドウ云フ風ニ  
扱ウテ居リ、且ツ貸出ヲドウ云フ風ニヤツテ居ルト云フ現狀  
ガ知リタイノデゴザイマス、極ク概括デ宜イノデアリマス  
ケレドモ、産業組合聯合會ノ現在ノ狀況如何デアアルカト  
云フコトヲ承ッテ見タイノデアリマス

○岡本政府委員 産業組合ノ聯合會ハ今日ニ於キマシテハ、  
全國ニ餘程各府縣ニ誇ッテ設置サレテ居リマシテ、御廻シ致  
シマシタ如ク、昨年末ノ數ハ百九十一ニ達シテ居リマス、今  
其運轉資本ノ狀況ヲ見マシテ、大正九年年末ニ於キマシテハ、  
拂込濟ノ出資金方二百四十一萬圓餘ニナツテ居リマシテ、積  
立金方七十九萬圓餘、而シテ借入金方七百二十五萬圓餘、貯  
金方千五百五十六萬圓餘、合計二千二百三十三萬圓餘ニナ  
リマス、即チ一聯合平均ガ、信用組合聯合會ハ二十萬圓餘ニナ  
ツテ居ル譯デアリマス、更ニ事業別ノ狀況ニ就テ見マシテ、  
信用事業ヲ營ンデ居リマス聯合會ガ八十六萬圓餘ニナツテ、  
此貸付金額ガ二千四百八十九萬圓餘ニナツテ居リマス、即  
チ一聯合平均ノ平均ガ三十三萬圓餘ニナツテ居リマス、貯  
金ノ受入高モ三千八百萬圓以上ニナツテ居リマス、一平均四十四萬圓餘  
ニナツテ居ル、販賣事業或ハ購買事業ト云フヤウナモノハ略  
シマスガ、最近ニ於テ斯ノ如クニ順調ナル發達ヲ致シテ居  
ルノデゴザイマス、就中愛知縣、埼玉縣、兵庫縣等ノ聯合會  
ガ最モ成績ガ好イヤウニ承知致シテ居リマス、只今御尋  
ドウ云フ具合ニ金ヲ集メテ居ルカ、ドウ云フ具合ニ運轉シ  
テ居ルカト申シマスル細カク點ニ付テハ、十分デハナイカ  
モ知レマセウカ、大體ニ於テ其加入ノ産業組合トノ聯絡ガ  
順調ニ行ッテ居リマシテ、斯ノ如ク未ダ十分トハ申シマセウ  
ケレドモ、漸次其機能ヲ發揮シテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノ  
デアリマス

○下岡委員 能ク分リマシタ、有名無實ノ産業組合ト云フモ  
ノガ随分多カラウト思フノデアリマスガ、近年ハ餘程進シ

デ來タカラ、サウ云フモノハ餘リ多クナイカモ知レマセウ  
カ、當局ノ見ラレル所デハ、ホシノ形式ノ産業組合ヲ拵ヘテ  
居ルガ一向働カヌ、有名無實ノ産業組合ト云フモノガ、隨  
分多數ニアルト云フ風ニ御考デアリマスガ、サウデナクシ  
テ、村落ニアル申譯ニ拵ヘタト云フモノデモ、近頃ハ餘程働  
ガ十分ニナツテ來タヤウニ御覽ニナルノデゴザイマスガ、  
ウカ、又時々産業組合ヲ折角拵ヘテ、直ク解散シテシマッ  
ト云フ例モ聞イテ居リマスガ、サウ云フヤウナ例ハゴザイ  
マセウカ、詰リ産業組合ハ數十年來ニ於テ基礎ノ鞏固ナモ  
ノガ非常ニ殖エタ、一万四千ノ産業組合ト云フモノ、大多  
數ハ、ソレ自ラガ本當ノ目的ヲ達スル所ノ働ラシテ居ルヤ  
否ヤト云フコトニ付テ、大體ノ當局者ノ御見込ヲ聽キタ  
イ

○岡本政府委員 只今下岡君ノ御心配ニナル點ハ、私共モ  
同ジヤウナ感ジヲ持ッテ居リマス、今日數ニ於キマシテハ約  
一万四千ニナツテ居リマスガ、其多クハ十分ナル機能ヲ發揮  
スルマデニ發達致シテ居ラスノデアリマス、中ニハ御説ノ  
ヤウニ出來テ一年ナラズシテ解散シタモノモ稀ニハアリマス  
ケレドモ、最近ニ於キマシテ、前ノ如ク數ハ此上サウ多クハ  
殖エマイト思ヒマスガ、内容ノ充實ト云フコトニ至リマシ  
テハ、各組合ガ餘程熱心ニナツテ參リマシテ、又農村ノ金融事  
情カラ申シマシテモ、産業組合ノ活動ト云フコトハ、實際上  
必要ニナツテ參リマシタガ爲メ、餘程此頃ハ實ガ入ッテ參ッ  
ヤウニ思ヒマス、例ヘテ申サレマシマシ、全國ノ聯合會  
ノモ、肥料ノ如キ物ニ至リマシマシ、全國ノ聯合會ノ如キモ  
シテ、有利ニ肥料ヲ買入スル、或ハ生産費ニ致シマシマシ、  
場合ニ依ッテハ直接消費者ニ賣ルヤウナ計畫モ致シマシマシ、  
産業組合自身ノ力ノミナラズ、御互ニ纏ッテ力ヲ以テ大ニ活  
動シヤウト云フヤウナ氣運モ段々現レテ居ル、此分デアリキ  
マスナラバ、今後ノ發達ト云フモノハ著シカラウト思ッテ居  
リマス、況ヤ本案ノ如キモノガ成立致シマシマシ、是ガ中心ト  
ナツテ偶々ノ産業組合マデ相當ノ金融ノ便ヲ得ルニ至リマ  
シタナラバ、面目ヲ新メテ、産業組合ト云フモノハ良クナラ  
ウト考ヘテ居リマス

○下岡委員 尙ホ政府ニ承リタイ事モゴザイマスケレドモ、  
事ハ稍々細目ニ涉リマスカラ、又是ハ別ノ機會ニ於テ御問  
フスルコトニ致シマシマシ、立案者ニ二三ノ事ニ付テ伺ッテ置  
キタイト思フノデアリマス、過日カラ星島君或ハ鈴木君カ  
ラ御尋ニナリマシタ疑點、ソレト私共同ジヤウナ疑ヲ持ッ  
テ居ル點ノ第一ハ、何ト申シマスカ少シ官憲萬能ト云ヒマス  
カ、餘リ官ノ力ニ偏シテ居ルヤウナ組合デハナカラウカト云  
フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、即チ當時例ニ學ガラレマシ  
タ役員ノ選舉、是モ一切主務大臣ガ任命スル、又評議員ト云

ヲ諮問機關ヲ置クモ、此諮問機關モ全部政府ガ任命スル  
 フコト、其他各種ノ規定ヲ見テ見マシテモ、十分嚴重ニス  
 ルト云フコトハ吾々モ認メルケレドモ、餘リニ政府ガ自由  
 自在ニヤツテシマウト云フ風デアリマシテ、殆ド産業組合若  
 クハ産業組合聯合會ヲ組織スル所ノ分子ノ意思ヲ、餘リ認  
 メヌト云フ風ノ立方ニナツテ居ルノガ、稍、此法案ノ缺點デ  
 ハナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデゴザイマス、固リ未ダ  
 日本ノ産業組合ハ十分發達シテナイ、隨ツテ中央金融機關  
 ヲ施設シテモ、若シ彼等ノ自由ニ任スト云フト、飛ンデモ  
 イ間違ヲ起スデアラウ、加之資金ノ融通ハ國家カラ仰グト  
 云フコトニナツテ居リマスカラ、勿論國家ガ相當ナル取締  
 スル必要モアレバ、又干渉ヲ加ヘル必要モアルニハ違ヒナ  
 イケレドモ、餘リニ斯ウ云フ風ニ致シマス、組合ソレ自ラ  
 ガマルデ國家ニ頼ルト云フコトニナツテ、自ラノ發達自治的  
 ニ進歩シテ行クト云フ意向ヲ阻礙スル傾向ガアルノデ、モ  
 ウ少シ私ハ組合ノ意思ヲ容レ、之ヲ組織シテ居ル所ノ各員  
 ノ意見ヲ容レルヤウナ規定ニ、斯ノ如キ事ニシタ方ガ宜イ  
 ト思フ、ト云フコトヲ大體ニ於テ感ズルノデゴザイマス、詰  
 リ是ハ獨逸ノ「セントラル、カッセ」ノ大體眞似ヲシテアルモ  
 ノト思ヒマスガ、御承知ノ通り獨逸デハ他ニ「ライフアイゼ  
 ン」ノ組合デアルトカ、今日ハ産業組合ト云フモノカラ出シ  
 テ居ルガ、産業組合ト云フヤウニ隨分民業本位デ出来テ、大  
 ニ中央機關モ澤山出来テ居テ、ソレト別ニ又國家直接ノ  
 「セントラル、カッセ」ト云フモノヲ拵ヘテ、産業組合ト聯絡  
 圖ツテ金融ヲシテ居ルノデアリマスカ、日本デハ唯一ノ中央  
 金庫ト云フコトニナルノデアリマスカ、餘リ國家機關ト  
 シテノ立方ニスルヨリハ、多少民意ヲ容レルト申シマスカ、  
 此組合員ノ意思ヲ十分ニ酌取ルコトノ出来得ル組織ニシタ  
 方ガ宜シクナイカ、ソレニ付キマシテハ細カク一一ノ規定  
 ニ付テハ、又色々議論ガアラウト思ヒマスガ、大體役員ノ任  
 命ガ大切ナ事デ、之ヲ全部主務大臣ガ任命スルト云フ形ニ  
 スルヨリハ、場合ニ依レバ理事長、副理事長ハ主務大臣ガ任  
 命スルモノトシテ、理事監事評議員ト云フモノハ、何トカ中  
 央金庫ノ總會ガゴザイマスカ、總會ガ選ブトカ、或ハ組合  
 全體カラ特ニ推薦シタ者ニ付テ、政府ガ其中カラ任命スル  
 トカ云フヤウナ立方ニシタ方ガ宜シクハナイカト考ヘマス  
 ガ、此點ニ關シテ立案者ハドウ云フ御考デアリマスカ、一應  
 承ツテ置キタイト思ヒマス

○牧野委員 只今下岡委員ヨリノ御質問ニ御答致シマス、  
 餘リニ官權萬能ニ過ギルノ組織デナイカト云フ其名前ノ下  
 ニ、本金庫法案ノ根本ニ關スル至極御尤ナ御質問ト存ジマ  
 スガ、此法案ハ只今御質問ニナリマシタヤウナ點ハ、實ハ立  
 案者ハ世界無比ナ特長ヲ持ツテ居ル案ト心得テ、大分自負ヲ

致シテ居ルノデアリマス、ソレハドウカト云フト只今ノ御  
 質問ノヤウニ、此案ハ主トシテ「セントラル、ゲノッセン」  
 フトカッセ」ノ案ヲ採ッタノデナイカト仰セラレルコトモ勿  
 論デアリマスガ、仰セラレタヤウニ「ライフアイゼン」ノ組  
 織モ是ニ加味シ、又「シユルツエデーリツ」ノ組織モ加味シテ、  
 本當ノ社會政策實行ノ機關トシテ斯ウ云フモノヲ拵ヘタノ  
 デ、ソコガ非常ニ苦心シタ所デゴザイマスカ、心シテ見テ  
 戴キタイ、斯様ニ苦心ガアル所ハ、總テ是等ノ三ツノ組織ヲ  
 何トナク長所ト思フ所ヲ混合ハシテ、隨テ之ヲ具體的ニ申  
 シマスルト、純然タル銀行的ニシタ所モアレバ、農商務省ノ産  
 業聯合組合見タヤウナ所モアル、又全然國家ガ單獨ニ爲スベ  
 キ社會政策的施設ト云フヤウナ所モアル、此三ツノ方面ヲ  
 備ヘテ居ルノハ、總テ三ツノ組織ヲ適當ニ按排シ織出シテ、  
 斯ウ云フモノヲ拵ヘタ積リデアリマス、隨テ缺點モ其點ニ  
 アルモノト存ジマス、ソコニ目ヲ付ケテ各條ヲ見テ戴キタ  
 イト存ジマシテ御質問ニ御答シマスカ、第一役員ノ任命權  
 ハ、大體政府ノ手ヲ借リルコトニ致シマシタノハ、政府ノ手  
 ヲ以テ行ハシムル社會政策ノ機關トシタイト云フ點ガソレ  
 デ、此間カラ申上ゲマシタ通り、其爲メ政府ノ低利資金ヲ持  
 テ來ルト云フ利便ノアルコトガ第二、第三ハ現在ノ狀況ニ  
 於キマシテハ、先ヅ政府ノ手ニ依テ哺育的ニ育てテ貰フト  
 云フコトガ必要デナイカ、斯様ニ思ヒマシテ、ソレニハ立案  
 ノ内情ヲ御話申シマスルト、監事位ハ出資者總會デ選ンダ  
 ラドウカ、又一部分ハ選舉シタ人ノ中カラ、政府ノ之ヲ任命ス  
 ルト云フコトニシタ方ガドウカト云フ説モ出タノデアリマ  
 ス、ソレ等ハ衆議院議長選舉ガ副議長選舉ニ三名ノ候補者  
 ヲ立テルト同ジニ、餘リニ若イ者ガ一絡ニヤルノハ形式  
 的ノ議論デナイカ、ソナナ形式ヨリモ、寧ろ官ニ委セルナラ  
 胡魔化シテ言ハナイデ、スツカリ委シタ方ガ宜シクナイカ、  
 サウスレバ心持好ク金ヲ出ストカ、其他ノ働ラスルニモ便  
 利デアアル、或ル程度迄進歩シタ時ニ改正スルト云フコトハ、  
 組合ノ人モ社會モ法律ヲ審議スル、議會モ政府當局モ必ズ  
 ソレハ受容レデアラウ、斯ナ徑路ヲ辿リマシテ斯様ナ  
 モノニナツテデアリマス、又御話ノ評議員ノ選任ニ當ツテ  
 モ、多少ノ意見ガ出タノデアリマスカ、ソレニ付キマシテハ  
 選舉シタ宜カラウト云フ、只今ノ下岡委員ノ御言葉ノヤ  
 ウナ意見モ出タノデアリマスカ、此際ニ於テ選舉ス  
 ルト云フコトニナルト懸念スルコトハ、兎角組合ガ分裂シ  
 テ、其間ニ一種ノ溝ガ出来ルト云フ虞ガアツテハナラヌカラ、  
 暫ク是デ發達ヲ見ヤウデナイカト云フノデ、斯様ナ事ニナツ  
 タノデアリマス、尙ホ出資者總會ノ規定ハ、勅令及定款ニ於  
 テ或ル程度迄ノ規定ハサレルコト、信ジマスカ、是モ相當ノ  
 程度迄ハ力アル働ヲ爲シ得ルコト、思ヒマス、先ヅ此様ナ  
 所デ始メテ行ッテ、サウシテ或ル時期ニ餘リ長ク經ツ必要モア

ルマイ、五六年、四五年ノ時期ニ於テ適當ナル改正ヲ爲スベ  
 キ事ガ發見サレラウ、其時迄ニ發達セシメテ行ッタ  
 ドウカト云フ意見デ斯様ナ案ガ出来タ次第デアリマス、左様  
 ニ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス

○下岡委員 御趣意ハ能ク分リマシタガ、併シ私共ノ見ル  
 所デハ、例ヘバ「ライフアイゼン」、「シユルツエデーリツ」  
 ト云フヤウナモノハマルデ民業デヤツテ居ル、其對抗ト云フ  
 意味デゴザイマセヌガ、稍、是ノ新機軸ヲ出シタノハ「セン  
 トラルカッセ」ト云フモノヲヤツテ居リマス、隨ツテアレハ全  
 然國家機關ガ政府ガヤツテ居ルモ同様デアリマス、殆ド民意ヲ  
 容レル必要ガナイト云フ意味ニ於テ出来テ居ルヤウニ思ヒ  
 マスカ、其一番大切ナ機關ガ産業組合中央金庫ノ機關ソレ  
 自ラ、全然「セントラルカッセ」外ノ働ハ成程「ライフア  
 イゼン」ヤ「シユルツエデーリツ」ヤウナ事ヲ加味シテ居  
 ルヤウデアリマスガ、機關ソレ自ララ動カス土臺ノ主能者  
 トナル理事其他ノ機關、是ハ全然國家ノ機關ト云フヤウナ  
 御立方ニシテアルト云フコトガ、私ノ餘リ感服ノ出来ナイ  
 點デアアルノデアリマス、併シ其點ニ付テハ色々御研究ノ結  
 果、已ムヲ得ズ斯ウ云フ風ニシタト云フ御説デゴザイマシ  
 テ、ソレ以上ハ意見ニ屬シマスカ、併ナガラ只今牧野委員ノ  
 御話ニ依ツテ見マシテモ、全然政府ヲ頼リニスルト云フ案ノ  
 ヤウニ出来テ居ルヤウデゴザイマスカ、ソレガ私共甚ダ疑  
 シイ點デアリマス、現ニ提案者ニ承ツテ見ルト、産業組合モ  
 大ニ盛ニナツテ來テ、今運轉シテ居ル資金ハ四億以上ニ上  
 テ居ル、聯合組合モ甚ダ振ハナイモノデアッタガ、只今承ル  
 ト二千万圓ノ金ヲ運轉スル、數ガ多イ爲メデアリマセウケ  
 レドモ、日本ニ於ケル地方金融機關トシテハ働ハ隨分ヤツテ  
 居ル、尙更ニ之ニ中央金庫ヲ設ケルト云フコトハ、全然之ヲ  
 政府ヲ頼リニシテ、一ニモ一ニモ政府カラ總テヤツテ貰フ  
 低利資金ヲ當ニシテ、ソナナ遣方デハ餘リ産業組合ソレ自  
 ラヲ、何時迄モ子供ニスルト云フ意向トニナリ、延テハ彼等  
 ノ自勵自奮シテ發達スルト云フ意向ヲ、阻害スルヤウナコト  
 ニナリハセヌカト云フコトヲ私共ハ憂フルノデアリマス、勿論中  
 央金庫ノ問題ハ今日ニ始ツタノデナク、十數年來此設置ノ必要ハ  
 考ヘラレテ居タガ、一番ソレニ苦シク居タノハ、組合ソレ  
 自ラノ發達ガモウ少シ進シテ來ナケレバナラヌト云フコト  
 ガ一ツ、政府ガ其資金ノ融通シテ與レル見込ガアリヤ否ヤ  
 ト云フコトガ一ツ、兎ニ角ヤラウト云フ企テ立テナガラモ、  
 其關係者ガ躊躇シテ居ルト云フ狀況デアリマスガ、併ナガ  
 ラ提案者ノ豫テ御話ノ通りニ段々政府ノ郵便貯金モ非常ニ  
 殖エテ來テ居ル、今日八十億ヲ突破スル有様ニナツテ來テ居  
 ルカラ、地方カラ集メテ居ル此金ヲ、是非共地方ニ還元スル  
 必要ガアルカラ、之ヲ低利資金ニ廻スト云フコトデアレバ、

必要ガアルカラ、之ヲ低利資金ニ廻スト云フコトデアレバ、

産業組合中央金庫ニ廻スコトモ出来ル、一方ニ於テ産業組合ソレ自ラ自治的ニ發達シテ來タ爲メニ、中央金庫タル可能性ノアルモノニテ行クト云フコトガ、遂々此具體案トナツテ來タモノデアラウト思ヒマスガ、併ナガラ第一ニ是ハ政府ヲ頼リニスル、殆ド産業債券スラモ中央金庫ノ金融ノ頼テ來ル土臺ハ、殆ド政府バカリニ頼ルト云フ風ニヤツテ行クト云フコトハ、其中央金庫ナルモノヲ發達セシムル所以ノ途デナクシテ、私共ノ考ヘデハ、政府カラモ十分低利資金ハ供給シテ貰ハナケレバナラヌガ、組合ソレ自ラモ奮發シテ、資金ヲ集メルコトニ努メナケレバナラヌモノデナカラウカ、隨テ産業債券等ニ付キマシテモ、中々一般カラ募集シテハ容易ニ寄リ惡イデアアラウケレドモ、唯々政府ノ低利資金ノミヲ目當ニセズニ、少クモ産業組合聯合會カラ産業債券ニ應ズルコトニシテ、其組合員デ應ズルト云フコトニシテ行ツテ、政府ノ力ト組合ソレ自ラト相俟テ行クト云フコトニシテ、其見地カラ今日餘リ官憲萬能ト云フコトニナツテ、政府ノ力ニ頼ルト云フ立前ニスルノハ面白クナイカラ、當分此儘ニシテ、數年後ニ復テ變ヘル機會ガアルト云フ御話ガゴザイマスケレドモ、折角此案ヲ編ム以上ハ、出發ノ始カラ餘リ政府ニ頼ルト云フコトヲセズ、組合ソレ自ラノ力ト政府ト相俟テスルコトニシテラ將來ノ發達ノ爲ニ宜シクナイカ、ソレニ付テドモ標準方面白クナイト思ヒマス、一番大切ナ機關組織ノ點ニ付テハ、總テ政府ニ任シテヤルト云フコトニスルト、總テガ國家機關同様に云フ風ニナツテ、割出シガ全ク政府ニ頼ルト云フコトニナル要ガアルノデ此點ニ付キマシテ只今御尋ラシタノデアリマスガ、尙ホ更ニ重ネテ此點ニ關スル御見込ヲ若シ承ルコトガ出来レバ洵ニ結構デアリマス

○牧野委員 只今ノ御質問ハ餘リ政府ニ頼ルノ嫌ガナイカト云フヤウニ拜承致シマシタ、ソレハ實ハ私ノ答辯ノ言葉ガ足りマセヌ、今日迄私ガ答辯シテ參リマシタ言葉全體ヲ御解釋ヲ戴キタイト存ジマスガ、政府ニ頼ルト云フ言葉ノ争ニナツテハ困リマスガ、決シテ言葉ノ争デハアリマセヌ、政府ニハ頼リマセヌ、此金庫ノ目的ハ既ニ山邊委員ニ御答辯致シマシタ通り、國家ノ有スル信用ヲ——國家ノ有スル信用ヲ無限ニ利用シタイ、是デアリマス、決シテ頼ルノデハアリマセヌ、國家ガ持つテ居ル信用ヲ無限ニ利用スル、此言葉ハ机上ノ上デ吾々ガ論ズルバカリデナクシテ、大體ニ於テ下岡委員ノ此案ニ付テ本會議デナサレテ御演說ノ趣旨ヲ解シテ見テモ、國家ト云フモノハ自ラ進んで社會政策的ノ機能ヲ發揮セシメテ居ナイ、此ニアツタモノデ、其點ハ本員固ヨリ共鳴ヲ致シテ居ル一人デアリマス、デアルカラドウシテモ國家ガ持つテ居ル信用ヲ、ソレヲ吾々ノ手ニ引摺リ出シ

テ來ナケレバナラヌ、引摺リ出スノハ吾々デアリマス、産業組合デアリマス、國民デアリマス、持つテ居ルモノハ誰カ、國家デアリマス、其持つテ居ルモノヲ引出スノデ、ソレハ吾々ノ力デアアル、決シテ國家ニ頼ルノデハナイ、吾々國民ガ案ヲ出シ、吾々議員ガ此案ヲ出シ、政府ガ之ニ賛成シタ以上ハ、政府ノ持つテ居ルモノヲ出スニ良イ方法デ取ラウジヤナイカ、ソレガ即チ茲ニ多少妥協點ノ出テ來ル所以デアリマス、飽迄理論ヲ貫キタイノデアリマスガ、ソコニ妥協點ヲ見出シタイ、ドウゾ私共ハ政府ニ頼ル爲ニ此案ヲ作ツタト云フ御考ハ、此場合は非捨テ、戴キタイ、サウ云フコトノ考ハ毛頭持つテ居リマセヌ、ソレカラ只今ノ何トカシテ機關ノ組織ヲ別ノ方面デ組立テル意思ガ無イカ——有リマス、明瞭ニ申シマス、ソレハ持つテ居リマス、唯々實行スルニ便宜トシテドウシタラ宜カラウト云フト、現在ノ法案ニ歸著シマス、實ハ便宜ガ問題デアリマシテ、主義ガ問題デアリマセヌ、餘リ官僚ノヤウナ主義ニ見エルカラ、モウ少シサウ云フ主義デアリマシタラソレハ明ニシテ、便宜ニ適フ方法ヲ執ツタラドウカト云フコトデ、具體的ノ良イ案ガ出來マシタラ、或ハ御譲リシタ方ガ宜カラウト思フテ居リマス、唯々御存ジノ通り現在我國ノ各方面ノ金融機關ヲ見マシタガ、ソレニ比シマシテ餘程百尺竿頭ニ一步ヲ進メタ所ガアルト、自ラ多少誇テ居ルノデゴザイマスガ、ソレデモドウモマダ臭イ所ガアル、モウ少シ斯ウシタ方ガ宜カラウト云フ御説ガアレバ、喜ンデ承リタイ存ジマス

○下岡委員 私人大體ニ關スル質問ハ其點ニゴザイマスカラ、何レ其點ニ付キマシテハ更ニ進んで小委員デモ出來マシタラ、何カノ際ニ確定的意見ヲ申シタイト思ヒマス、尙ホ二三細目ノ點ニ付テ承テ置キタイ、ソレハ皆此間御話ニナツタ役員ハ、外ノ業務ヲ兼ヌルコトヲ得ズト云フ明文ガ挿マレテナカッタ、サウデアアルノデゴザイマス、彼ノ勸業銀行法、日本銀行法條例、其他半官半民ノ特殊銀行會社等ニ關スル法律ヲ見テモ、役員ノ任命ハ之ヲ一部分政府ガスル、而シテ役員タルモノハ他ノ業務ヲ兼ヌサセズ、専心ニ其仕事ヲヤレト云フコトニナツテ居リマス、特ニ産業組合中央金庫ニ付テ其規定ヲ省イテ理由ハ、成ベク人材ヲ各方面カラ得ルヤウニ、他ノ業務ヲ有ツテ居ルモノデモ探ツテ宜イデナイカ、斯ウ云フ趣意カラ省イタト云フコトデゴザイマスガ、本員ノ考デハ少シ此點ハドウデアラウカト云フ考ヲ持つテ居ル、何トナレバ彼ノ勸業銀行、日本銀行ナドノ營利會社ニ於キマシテハ、寧ロ他ノ事ヲ兼ヌルノハ宜イガ、産業組合中央金庫ハ、純粹ノ國家的の仕事デ、非營利事業ト云フベキモノデ、非常ニ地味ナ仕事デ、他ノ派手ナ仕事ト趣ヲ異ニスル、非常ニ地味ナ堅實ナ遣方ヲシテ行カナケレバナラヌ立場デアアル

カラ、寧ロ人材ヲ要スルニハ相違ナイガ、餘リ非常ニ手腕ガアルトカ、力量ガアリ、多方面ニ技能ヲ發揮スル人デアアルト、却テ危險ナ感ジガスル、勿論人材ハ吸收シタイコトハ勿論デアアルケレドモ、斯ウ云フ地味ナ仕事ニ當ツテ、極ク實質ナ堅固ナ先ヅ手堅イ人ヲ撰ンデヤラスト云フ上カラ考ヘテ見マスト、寧ロ却テ各種ノ業務ヲ營ムモノハ、之ヲ兼ヌルコトヲ得ストスル方ガ宜イカ知ラン、産業組合中央金庫ニ限ツテ之ヲ止メタ方ガ宜イ位ニ考ヘル、日本銀行ヤ、勸業銀行ノヤウニ專務デヤツテ居ル人ハ別トシテ、然ラザル人ニハ他ノ業務ヲ兼ヌテ宜イト思フモノニ、各條例ニ於テ之ヲ禁止シテ居ル位デアアルノニ、反對ニ中央金庫ニハサウ云フコトヲヤラス方ガ宜イト思フニ拘ラズ、特ニ其條文ヲ削ッテデアリマスカラ、其點ニ付テ尙ホ繰返シテ御意見ヲ承ツテ見タイノデアリマス

○牧野委員 御答致シマス、特殊銀行ノ理事ニ付テハ、他ノ業務ニ關係シテハナラヌト云フ規定アルニ拘ラズ、本法案ニハ其規定ヲ缺イテ居ル、ソレハ先日本員ヨリノ答辯ニ依レバ、以テ融通ヲ利カセルモノノダト云フケレドモ、融通ヲ利カセルコトハ、却テ弊害ハナイカト云フ質問ノ趣意ト拜聽致シマシタ、實ハ洵ニ困ツタノデアリマス、只今下岡委員ヨリ承リマシタヤウナ議論モ出タノデアリマスガ、ソレガ官僚式デハナイカト云フコトニナツテ除イタノデアリマス、ソレハドウ致シタモノカト重ネテ御質問ヲ承リマシタ、今考ヘテ居ル譯デアリマス、實ハ其議論ガ盛ハサレテ結果、初カラ成ベク官僚的氣分ヲ抜カウ、抜カウトシテ、ソレ等ノ目的カラ拔カレタモノデアリマス、左様ニ御解釋ヲ願ヒタイト存ジマス

○下岡委員 十三條ノ業務ノ中ニ定期償還貸付トアリマスガ、勿論此性質上、長ク貸スコトハ出來ナイモノデアラウト思ヒマスケレドモ、本員ノ見ル所デハ、定期償還デナクとも、産業組合ノ基礎確實ナルモノニ付テハ、年賦償還ノ方法モ、餘リ長期ニ非ザルモノハ出來得ルヤウニ考ヘマスガ、ソレヲ御省キニナツタ理由ハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレカラ十五條ノ「定期預り金」デアリマス、是ハ資本運用ノ上カラ言ヒマス、一時預リトデモ云ヒマスガ、サウ云フモノモ入レテハドウカト思ヒマス、ソレハ普通銀行ノ仕事ヲ蠶食スルト云フ上カラ除イテアルモノカトモ思ヒマスガ、其邊ニ付テハ何カ御議論ガ無カッタモノデアリマセウカ、要スルニ私ノ考デハ、低利資金目當ニシテ中央金庫ノ仕事ヲヤツテ行クダケデハ物足ラヌ、自活的ニ資金ヲ集メテ、或ル程度マデハ銀行ト同様ノ仕事ヲヤツテ行クト云フ考ガ無イト、立行カヌヤウニ思ヒマスガ、モウ少シ營業ノ範圍ヲ擴メタラドウカト云フ考ヲ持つテ居リマスガ、其點ハ如何デアリマスガ



○牧野委員 御答致シマス、業務ニ關スル十三條ノ規定中長期ヲ掲ゲザル理由如何、十五條ノ預リ金ヲ定期ニ限リテ居ルガ、尙ホ此種培養制ヲ擴張スルノ意ナキヤト云フコト、拜承致シマシタ、十三條ニ長期ヲ入レテ居リマセヌノハ、本員モ多少遺憾ヲ感ジテ居リマス、先程御話ノ「ライフアイゼン」ノ組織ナドデハ、寧ロ長期ノ方ガ原則デアアル、併ナガラ之ヲ入レマスト、我國ノ現狀ト致シマシテハ、兎角只今行ッテ居ル特殊銀行ノ方カラモ、ドウカシテ現行法ヲ改正シテ、少シ長期ノ金モ貸シテヤリタイト云フ傾向ヲ持ッテ居ル、其方面デハホンナモノヲ造ラナイデモ、機能ガ足ルデハナイカト云フ空氣ニナッテ居リマス、故ニソレハ結構デス、ソレヲ其方ニ向ケテ呉レト云フ長期ヲ其方ニ譲リマシテ、此方ヲ中央金庫ニ持ッテ來タノデアリマス、其意味ニ於テ長期ガ茲ニ割愛サレタ所以ト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、又十五條ノ方面ハ、矢張培養制ヲ擴張致シタイノデアリマス、兎角銀行業務ト競争スル弊ニ陥リ易イ存ジマス、又附ケタリニ中上ゲタイノハ、自治的ニ資本ヲ集メルコトニ附テハ十分苦心ヲ致シマス、是ハ今度中央金庫ガ出來マシテ、産業組合ノ人々、聯合會ノ人々、及此金庫ノ幹部方如何ニ吾々ノ理想トスル所ニ向ッテ活動スルカト云フコト、組合ノ資金ヲ集メル方法ト、其集リ方ニ依ッテ成績ヲ現スト思ヒマス、又産業債券ヲ聯合會若クハ組合ニ應募セシメル、又組合ガ現在有スル二億二千萬圓ノ貯金、ソレ等モ主トシテ此金庫ヘ預ケル方針ヲ執リタイト云フ希望ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○下岡委員 私人質問ノ要點ハソレダケデアリマス、要スルニ多少ノ修正ハ要スルト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、更ニ立案者ニ御相談スル機會モアリマセウシ、又吾々ノ意見ヲ中上ゲル機會モアラウト思ヒマス、大體ニ於テ私ノ質問ハ終了致シマシタ

○松浦委員 私人提案者ニ近イ方ノ側デアリマスカラ、質問ト云フ譯デモアリマセウガ、自分ノ研究ノ足ラヌ點ガアリマスカラ、ソレニ付テ立案者ニ研究ノ御相談ヲシテ見タイト思ヒマス、ソレハ殊ニ静岡縣ニ於テ發達シテ居ル報徳社ノ取扱デアリマス、私ノ考デハ産業組合ト云フモノハ、主トシテ經濟的ニ出來テ居ル、報徳社ハ經濟道德二方面カラ基礎ヲ築イテ居リマスケレドモ、實際ニ於テハ七八分ハ産業組合ト同様ノ仕事ヲシテ居ルノデ、隨テ静岡縣ノ如キハ制合ニ産業組合ノ發達ヨリモ、報徳社ノ方ガ能ク發達シテ居ルノデアリマス、サウ云フ地方的ニ特殊ノ關係ガアル上ヨリシテ、此中央金庫ガ成立スル場合ニ、報徳社ト云フモノヲ何方産業組合ニ準ズルヤウナ意味ニ於テ之ヲ取扱フト云フコトガ、或ハ穩當デハナカラウカト云フ考ガ頻ニ浮ンデ

來ルノデアリマス、勿論報徳社ニハ報徳社ノ特質ガアッテ、必シモ産業組合ト同一トハ云ハレマセウカラ、之ヲ同様ニ視ルコトガ出來ナイト云フ議論モ成立チマセウ、自分ノ考デハ恐ラク此報徳社ヲ産業組合ノ範圍ニ入レルカドウカ、中央金庫ヲ造ル際ニ於テ、如何ニスルカト云フ問題ハ、本院ヨリモ却テ貴族院ニ於テ確ニ大ニ起ッテ來ラウト推測スルノデ、多少ナリトモサウ云フ豫測ガアル以上ハ、此所デ十分ニ研究シテ置クト云フコトガ必要ラウト存ジマスカラ、是等ノ點ニ付テ立案者ニ於テハ、ドレ位マデ御研究ナステ居ッタカ、自分ノ研究ノ不足ヲ御相談申上ゲル次第デアリマス

○牧野委員 松浦委員ノ御質問ニ御答致シマス、本金庫成立ノ曉ニ於テ、報徳社トノ關係ニ付テ如何ナル考慮ヲ拂フカト云フ御質問ノ趣旨ト拜聽致シマシタ、報徳社ニ付キマシテハ、本金庫トハ餘程深い因縁ヲ持ッテ居リマス、御承知ノ如ク我國デ中央金庫設立ノ希望ハ既ニ數十年前以前カラアリマス、吾々ノ案トハ餘程其案ノ性質ヲ異ニ致シテ居リマスケレドモ、既ニ品川彌二郎内務大臣ノ頃ニ於テ其意見ノ芽ヲ出シ、種々ナル根ヲ張リ出シテ來テ居リマシテ、其途中ニ於テ報徳社ト云フモノガ、直接間接ニ本金庫ヲ設立セントスル人々ニ特殊ノ資料ヲ供シタコトヲ承知致シテ居リマス、本員ガ之ヲ研究ノ中ニモ報徳社ノ材料ヲ二三拜見致シマシタ、唯、茲ニ遺憾ナルハ此案ハ前カラモ申シマシタ通り、社會政策ノ目的ヲ持ッテ居リマシテ、ソレシテ人格ヲ有スル特殊ノモノニ限リテ居ル點デアリマス、成程報徳社ニ自治的、自主的、而シテ修養的ノ頗ル意味深キ特長ヲ持ッテ居リマスケレドモ、法律ガ特殊ノ規定ヲ以テ其間ニ一般のニ命ジテ居ル産業組合ト云フヤウナル、特殊ノ法人的ノ性質ヲ備ヘテ居ナイノデアリカト本員ハ解シテ居リマス、ソレデ公共的ノ自治的ノ自主的發達ヲシテ行ク總テノモノガ、本金庫ヲ利用シ得ルノデアリマセウカラ、併立ラシテ行クナラバ如何カト本員ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ併立スル上ニ於テ矢張中央金庫ヲ利用致シタイ、致ス方ガ利益ガアルト云フ御考ガ出タナラバ、其時コソハ報徳社ヨリモ産業組合ガ宜イノダト云フ御考ニ至ラタ時デナイカト思ヒマス、其時ニハ其宜シイ方ヘ組織ヲ御變ヘ下サッタ方ガ、組合ノ爲ニモ國家ノ爲ニモ都合ガ好クハナイカ、入ッテハ都合ガ悪イ、産業組合ヨリハ報徳社ノ方ガ宜シイケレドモ、中央金庫ダケハ利用シタイ、斯ウ云フ時ニハ洵ニ遺憾ナ結果デアリマスケレドモ、其途方是デハ開キ得ナイ、斯様ナ事ニナリマス、此際本員等ノ考ト致シマシテハ、併存セシヌテ行キタイ、サウシテ産業組合ノ方ガ宜シイト云フコトノ點ヲ御發見ニナッタナラバ、同趣旨ヲ立テルノデアリ

マスカラ、産業組合ノ方ニ組織ヲ御變ヘ下スタナラバ如何ナモノデアラウカ、斯様ナ考ヲ一應持ッテ居リマスコトヲ御答致シマス

○松浦委員 今牧野委員ノ御答辯デ、牧野委員ノ御意見ハ分リマシタガ、私ノ研究シヤウト思フタノハ、勿論此中央金庫ノ法案カラ云ヘバ、報徳社ガ入ラヌノガ當然、併シ恐ラク報徳社ヲ如何ニ扱フト云フコトガ、此議案審議ノ前途ニ於テ、大ニ起ッテ來ル問題ダト私ハ推察シマス、此私ノ推察ガ或ハ中ラヌカ知ラヌガ、私ハ貴族院ニ於キマシテ起リサウニ考ヘル、其場合今ノヤウナ事ヲ主張サレテ旨ク行クモノデアルカ、寧ロ今日ニ於テ考慮スル必要ガナイカ、斯ウ思フノデアリマス、尙ホ一寸伺ッテ置キマス

○牧野委員 松浦委員ノ御質問ニ御答致シマス、私ノ答辯ガ足リマセウデ、意ヲ盡シマセヌコトハ恐縮致シマス、實ハサウ云フ御質問ガ出マスルト困ルノデアリマス、主義ト致シテハ之ヲ通シタイノデアリマス、此案ガ通ル上ニ中ニ入シタナラバ便宜ダト言ハレルト困ルノデアリマス、ドウ致シタモノデアリマスガ、貴族院デ反對ナシニ此主義ヲ貫クコトニ共々御力添ヲ戴クコトガ、此生長發達ノ上ニ好マシイ事デナイカト思ヒマス、何分ノ御考慮ヲ煩シタイト思ヒマス

○武藤委員 如何デスカ、モウ十二時ヲ過ギマシタガモウ少シヤリマスカ

〔散會ト呼フ者アリ〕

○武藤委員 今今日ハ是デ散會致シマス

午後零時六分散會